

2004年1月1日～2017年12月31日の間に
川崎医科大学総合医療センターおよび川崎医科大学附属病院で上部消化管内視鏡検査を
受けられた患者さんへのお知らせ

課題名：内視鏡所見による組織学的胃炎の診断能に関する後ろ向き調査

当教室では、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て2004年1月1日～2017年12月31日の間に川崎医科大学総合医療センターおよび川崎医科大学附属病院で上部消化管内視鏡検査を受けられた患者さんについて、内視鏡所見による組織学的胃炎の診断能を検討するための後方視的調査研究を実施します。

胃炎の京都分類に準じた内視鏡所見から、組織学的胃炎、特に、ピロリ感染胃炎の診断能を検討することを目的としています。

研究期間は、倫理委員会承認日～西暦2020年3月31日の予定です。

治療介入を伴わない既存資料（年齢、性別、疾患、検査内容）及び既存検体の生検組織のみを用いた後方視的研究であるため、新たに人体試料は採取しません。個人が直接同定されうる情報は匿名化を行った後に解析されますので、個人情報外部に漏れることはありません。研究結果は学会や学術雑誌等で発表いたします。

この研究課題を実施する研究者の中にはコヴィディエンジャパン（株）、大塚製薬（株）、第一三共（株）、EAファーマ（株）、ゼリア新薬工業（株）、田辺三菱製薬（株）、アヅヴィ合同会社、大日本住友製薬（株）、ファイザー（株）、武田薬品工業（株）、MSD（株）、中外製薬（株）より奨学寄附金の受入奨学寄附金の受入れ、ガドリウス・メディカル（株）、第一三共（株）、アストラゼネカ（株）、武田薬品工業（株）、アステラス製薬（株）、田辺三菱製薬（株）、ゼリア新薬工業（株）より個人収入受入れ及び製造販売後調査としてアヅヴィ合同会社より受入れがありますが、利益相反委員会にこの内容を申告し、適正に管理されています。

研究に関してご質問のある方や研究への参加を希望されない方につきましては研究対象としません。下記までご一報下さいますようお願い致します。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、患者さんに新たな費用負担及び謝礼はございません。ご希望であれば、他の研究対象者の個人情報及び知的研究財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。

【この研究に関する問い合わせ先】

研究責任者：川崎医科大学総合医療センター 内科 医長 末廣満彦
〒700-8505 岡山県岡山市北区中山下2-6-1
電話：086-225-2111（内線 85328）FAX：086-232-8343
E-mail：m.suehiro@med.kawasaki-m.ac.jp